大企業にAI税を

米進歩派議員 提案

「大量失業防ぐことで、世界をけん引」

【ワシントン＝洞口昇幸】

米国で大企業による人工知能（AI）技術の急速な導入が進む中、労働者の大量失業に備え、大企業への新たな課税を求める声が高まっています。野党民主党の進歩派のウォーレン連邦議会上院議員やカサール下院議員は、大企業への「AI税」の導入を提案。その税収を社会全体に還元し、失業者の生活支援や再就職のための財源にあてるべきだと主張しています。

ウォーレン氏は、米誌『タイム』電子版27日付の寄稿で、超富裕層に富が集中する現在の深刻な経済格差をAIはさらに拡大する危険があると警告。「私たち全員にとって機能する経済状況を築く」ため、「AIに課税し、人々のために公共投資すべきだ」と強調しました。

同氏は、企業が従業員を解雇してAIに置き換えれば税控除される現在の税制度の改革や、電力使用量に応じたAIデータセンターに対する課税、AIバブルで急増する株式評価益や企業価値など超富裕層が保有する巨大資産に課税し、医療や教育、職業訓練、雇用保証の予算の財源にあてることを提起しました。

ウォーレン氏は、今日のAI技術はこれまで人類が築いてきた「知性と創造性」を学習させて成立していることを示し、「米国民はこの成功を分かち合う権利がある」と訴えています。

カサール氏も、進歩系ネットメディアへの28日付の寄稿で、予想されるAI技術の導入に伴う大量失業の対策の一つとしてAI税の導入を主張しました。

同氏の唱えるAI税とは、対象は一般消費者ではなく、企業がAIを動かすために使うコンピューター処理量に応じて課税する仕組みです。「同時に重要なのは、この税収が失業者に対する雇用創出に直接投資されるべきだ」と訴え、大規模な雇用創出プログラムの実施も提案しました。

米AI企業に課税強化すれば中国との競争に負けるという反対論が想定されます。これに対して、カサール氏は「中国と米国の労働者が犠牲となり富裕層だけが勝者になる底辺への競争には、私は関心を持たない。AI時代に大量失業を防げることを示すことで米国は世界をけん引できる」と語りました。

施設に「トランプ」の名 米連邦地裁が違法判決

元に名称戻せと命令

理事会決定を受けて、トランプ大統領の名が加えられた「ジョン・F・ケネディ舞台芸術センター」＝2025年12月、ワシントン（ロイター）

【ワシントン＝時事】

米首都ワシントンの連邦地裁は29日、首都にある総合文化施設「ジョン・F・ケネディ舞台芸術センター」の運営理事会が施設名をトランプ大統領にちなんだ形に変更したことについて、違法だと断じ、元に戻すよう命じる判決を出しました。改修のため7月4日からセンターを2年間閉鎖するとの決定に関しても、手続きに不備があると指摘し、閉鎖を差し止めました。

トランプ氏は昨年2月、全米でも名門として知られる同センターの運営理事会のトップに就任。理事会は同12月、ケネディ元大統領の名前を残しつつ、「ドナルド・J・トランプ」を施設名に加えることを決めました。

判決はセンターについて、舞台芸術の振興に尽力したケネディ氏を記念する施設と法律で定められており、名称を変更できるのは「議会だけだ」と強調しました。センターの閉鎖を巡っても「理事会は不十分で偏った情報に基づいて決定し、法令上の責務を検討することを怠った」と厳しく批判しました。

トランプ氏はSNSへの投稿で「恥を知るべきだ」と地裁の判事を非難。一方で、「破綻寸前の施設を議会に返す」と述べ、政権としてセンターの運営や維持管理から手を引き、議会に判断を委ねる考えを示しました。

特派員日誌

絵画から見える国の記憶

●ベトナム

ハノイに赴任後の最初の休日に、市内にあるベトナム美術博物館に行ってきました。面積こそ広くないものの、歴史的な発掘品や中世の仏像、20世紀以降の絵画まで名品ぞろいで、充実した休日になりました。

そこで注目したことが二つありました。

一つは、抽象表現が圧倒的に少ないこと。田植えの様子や昼下がりの街角など、日常の風景を切り取った具象絵画は多く並ぶものの、日本の美術館で近代以降の表現として展示されるような抽象絵画は多くありません。政府が国策としてリアリズム表現を推進したのか、それとも抽象絵画が生まれる文化的な土壌がなかったのか、理由は今のところ分かりません。

もちろん、だから悪いというわけではありません。一見素朴な表現に見える風景画でも、構図や色彩がしっかり決まっていて、飽きずに見ていられる絵が何枚もありました。

もう一つは、そうした日常を切り取った絵画と、進軍するゲリラ部隊など戦争の様子を描いた絵画が同列に展示されていること。親子で遊ぶ一こまなど当たり前の日常が、戦争で血を流して勝ち取ったものであり、その記憶がまだ新しいからこそ、そうした日常の美しさも鮮明に描けるのかと思いました。

調べてみると、郊外にある巨大ショッピングモールに開設された大型ギャラリーでは若手作家による抽象絵画なども展示されていたり、パフォーマンスなど実験的な作品を発表する作家集団もあるとのこと。米国との戦争を通じて独立を勝ち取った歴史を持つベトナムで、どのように現代の表現が展開されているのか、興味は尽きません。

（ハノイ＝鈴木平人　写真も）

ベトナム美術博物館。フランス植民地時代の建物を利用

世界の街角

アラカルト

無料カフェで地域とつながる

土曜日はフードバンクや生活必需品の配布も行っています

●英　国

私が暮らす地区で生活困窮者支援を行っているチャリティー団体が、週5回「コミュニティーカフェ」を運営しています。友人とランチを食べに行きました。

このカフェでの飲食は基本無料ですが、支払える人は好きな金額を支払います。平日はワン・プレート・ランチ、土曜日はコースメニューが振る舞われます。

中に入ると、庭に面した明るく広いオープンキッチンのスペースに、赤ちゃんから老人まで30人ほどのお客さん。無料ランチを求める人に加え、「一般のカフェ」として利用する近隣の住人もいました。

フードロス対策として提供された食材を利用したこの日のメニューは「ジャークチキン（ジャマイカ料理）、サラダとライス添え」。スパイスたっぷりの味付けが好みに合いました。

団体は自治体からの助成金と寄付（金銭と物資）、ボランティアの働きで運営されています。この日私を含め数人が支払いましたが、これも活動資金につながります。スタッフは「運営はとても大変。でもこの開かれた場所を維持したい」と言っていました。

定期的なボランティアはできないけれど「何かしたい」と思う人は多いはずです。気軽に立ち寄り地域とつながることができる場所を発見してうれしくなりました。

（ロンドン在住　宮田華子　写真も）

読者の広場

投稿送り先　〒151-8675　東京都代々木郵便局私書箱62号　FAX 03(3350)1904　メール　hensyukoe@jcp.or.jp　投稿フォーム https://ptv.jcp.or.jp/survey/862595?lang=ja

9条ボードで若い人と対話

滋賀県　亀山　洋実（69歳）

高市首相の改憲策動に危機感が募り、党の仲間やデモカレンダーで知り合った人と駅前に立ち、シールアンケートと対話に取り組んでいます。

初めはスタンディング中心でしたが、先に取り組んでいた先輩から「高校生は憲法9条を知らない子がほとんど」とシールアンケート結果を聞き、これでは「平和憲法守れ」では彼らの気持ちに届かないと、シールアンケートと憲法9条の条文をボードにして対話に取り組んでいます。

トランプのイラン攻撃には反対、「No War」だと言ってシールを貼ってくれたアメリカ人観光客（彦根駅）やプラカードを持ち、戦争反対を唱和してくれた飛び入りの高校生もいました。

9条は知っているという高校生がほとんどですが、条文を示し促すと興味深そうに読み上げてくれます。ありがとうと言ってくれた高校生も。

若い人は素直に聴いてくれ面白い。高市改憲断念までガンバります。

母の日の花を辞退した思い

東京都　本宮　輝美（70歳）

2年前から、娘たちからの母の日の花を辞退している。それまで毎年同時期に、娘からと息子のパートナーから豪華な鉢植えが二つ届いていたが、うまく育てきれず、それがストレスにもなっていた。物価高で、子育て真っただ中での花の出費は大変だろうという心苦しさもあった。

「それよりたまには孫を連れて会いに来て」と言いたかったが、それも共働きには負担になると思い、言えなかった。

実母も義母も私が送った花を見ては、そんな思いをしていたのではないかと今になって思う。

ゲージツ家の同窓生を悼む

札幌市　青田　輝子（84歳）

5月15日付本欄で埼玉県の鶴田三枝子さんの「ゲージツ家へ　ご縁と感謝と」を読みました。

私は鉄のまち室蘭で生まれ育ち、旧蘭東中学1年生の時、故篠原勝之君の隣の席で一緒に勉強しました。60人10クラス、教室不足で私たちの1組は工作室で担任の先生は美術の先生でした。篠原君はおとなしく、しゃべらない、1人でいつも何かを作っていました。

私は室蘭を離れたので篠原君を知ったのは昨年、「赤旗」の「古都の庵から」を読み、なんと70年ぶりに「赤旗」で知ったことに胸が熱くなりました。

鶴田さんは連載の12回分が手もとに。私は2回しか読んでおらず、「赤旗」を読んでいて本当に良かったと思いました。他紙には、「ゲージツ家のクマさん」と親しまれテレビに出たり文筆活動で泉鏡花文学賞をいただいた記事がありました。元気な時にお会いして昔話をしたかったです。いつかあの世でお会いして話せたら良いね。

すなっぷ

真っ赤な夕日

吉田　義春（69）

兵庫・稲美町

加古川河口に行くと、真っ赤な夕日に出合えました。（3月5日、加古川市）

世界覆う格差 怒りの声結集

青森・むつ市　吉田　麟（85歳）

青森県も新緑の季節。地方紙には奥入瀬渓流の新緑の写真が載っています。

雑誌『経済』に連載中の浜矩子さんの入門講座「人間讃歌としての経済学」を繰り返し読んでいます。『Q&A　いま「資本論」がおもしろい』と重ねると、世界を覆う格差社会についてますます怒りが強まります。

こんな中、なぜ戦争を起こすのか、その戦争を止められないのか。なぜ地球の崩壊を放置しているのか。巨大な氷山は砕けて溶けて、富裕層はますます頂点の地位を固めている。私たちの怒りの声を結集していきたい。

不殺生の教え 私も平和行進

横浜市　稲葉　定男（88歳）

5月16日付「憲法守れ―各界から―」の「9条に息づく『不殺生』」を見て宗教者の記事がのることが少ない中、私と同じ立場の人の記事を読み初めて投稿します。私はお寺で日曜日、座禅会に参加して30年間続けて座禅している者です。（曹洞宗）

お釈迦（しゃか）様の不殺生（ふせっしょう）戒をときました。5月10日に平和行進を私も歩いて来ました。思いは記事に載っていた小野文珖さんと同じ。「武器を作り金を稼ぐ」欲の皮のつっぱった人はダメ人間です。

ローカル線は地域の〝動脈〟

京都・城陽市　堀井　洋一（75歳）

今尾恵介さんの連載「日本の廃線」を読み、60年前の高校生時代を思い出しました。当時私は、紋別市（北海道）に住んでいました。

通っていた高校には、元紋別駅や北見滝ノ上駅から国鉄で通学してくる同級生がいました。街は元気でした。退職された校長先生を紋別駅で見送る時、みんなで「ほうはい寄するオホーツクの…」と校歌を歌ったことを思い出しました。

数年前、中学の同期会で紋別に行きました。街はすっかり変わり、以前の元気はなかったです。

鉄道は地方にとって動脈のようなものです。新幹線や高速道路より、ローカル線を大切にしてほしいです。

ふれだいこ

狂句

都構想
三度目なしと
二枚舌

北海道・愚山人

絵手紙

知っていますか
マイナカードの
有効期限

埼玉・草加市　椎木しづ

まんが

孤立するトランプ大統領

名古屋市　船張一彦

こどものひとこと

◆釣りの約束したが◆

小4の孫、盛くんと約束した魚釣りの日。「じいちゃん行くよ」、「どこに？、じいちゃんはひと晩寝たら忘れた、盛くんも忘れたろ」、「盛くんはお年寄りじゃなかけん、忘れとらん」。

（瀬戸渡　72歳　熊本県）

◆亀のぬいぐるみは◆

旅行先で亀のぬいぐるみを買いました。小2の孫（女）に見せると、「うりうりちゃん！」と言って大のお気に入り!!「今晩うりうりちゃんと寝たいから」と言って持ち帰りました。なぜ「うりうりちゃん」なのかなあ？　不思議。

（カメカメ　70歳　愛知県）

◆じじと風呂に入り◆

半年ぶりに会った2歳9カ月の孫たい君。人見知りが直り、自分から「じじちゃんと入る！」と風呂へ。入浴後「たい君に〝いい体してるね〟って言われたよ」とじじ。ほめ上手な孫でした。

（ばばちゃん　68歳　埼玉県）

◆転んでしまっても◆

山の親子教室で、いつも（？）山の子はみんなーと、歌っている。山登り散歩で、思わず転んでしまった2歳の男の子。大丈夫？と声かけると「やまのこ、やまのこ」と手をはらって立った。さすが山の子でした。

（畑中富佐子　77歳　京都府）

◆2人でかくれんぼ◆

2歳8カ月の孫と2人でかくれんぼです。孫が隠れます。1人しかいないのに「みんな隠れるんだよ」と言って隠れます。保育園でかくれんぼする時に、先生が言うんだね。

（後藤治子　78歳　静岡県）

投稿規定…投書　400字程度。点字も可。趣旨を変えず直すことも／**若いこだま**　35歳まで、短文も可／**イラスト**　年齢制限なし／**すなっぷ**　簡単な説明と撮影日を。データは200万画素以上／**絵手紙**　はがきで現物を／**まんが**　1こまに限る／**ふれだいこ**　風刺をきかせて／**わが家のペット**　写真大歓迎／**こどものひとこと**　約100字で

郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、「読者の広場」を明記。一般投稿、わが家のペット、すなっぷは本名が基本。ペンネームは姓と名を含む一般にありうるものに。有名人と同じものは避けて。採用された方には図書カードを進呈（聞いて聞いては除く）。デジタル版に掲載する場合もあります。他紙やブログ、SNSとの二重投稿禁止。原稿、作品は返却しません。掲載の可否にかかわる問い合わせはご遠慮ください

投稿フォームをご利用ください

投稿用のフォームができました。一般投稿、若いこだま、イラスト、すなっぷ、1こままんが、ふれだいこ、わが家のペット、こどものひとこと、紙面への意見・要望を送ることができます。（絵手紙は郵送で現物を）